今須小中校に顕微鏡贈る

大垣西濃信金 マキナの私募債活用

兼山陽介社長（左から２人目）から顕微鏡を受け取った児童生徒ら＝関ケ原町今須、今須小中学校

大垣西濃信用金庫（大垣市恵比寿町）は16日、機械製造のマキナ（関ケ原町野上）から私募債発行に伴い受け取る手数料の一部を活用し、同町今須の今須小中学校に顕微鏡3台（約10万円相当）を贈った。

同信金の「地域貢献型私募債〝絆〟」は、発行企業が指定する学校や団体に、同信金が手数料の一部で購入した書籍やスポーツ用品などを贈る仕組み。マキナは地元の子どものために役立ててもらおうと同校を選んだ。

同校であった贈呈式で、兼山陽介社長が白川勇一校長に目録を、小学6年杉山蒼真君(12)と中学3年高田美空さん(15)にそれぞれ手渡した。白川校長は「子どもたちが理科の授業を楽しく受けてくれると思う」、高田さんは「大切に使い、授業をより良くしたい」と感謝した。

（河村有都）

無断複製・転載を禁じます